

学校便り

ブラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 224 313 684

Email: gakko@jpschool.cz

No.905 2018/1/25

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

# VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

## 4つの「あい」を大切に～あいさつ、支えあい、励ましあい、助けあい

### (スキー教室の児童生徒会のスローガン)(スキー教室の「振り返り」より)

「私は今回のスキー教室で、全体のめあては全部できたと思います。他学年と楽しくしゃべったり、パラレルが少しできるようになったし、委員会などにおくれないように、参加できたからです。めあてを守りながら楽しめました。」(4年・河原崎さん)

「あいさつと助けあいはよかったけど、支えないと励ましあいがたくさんできなかったから、その分学校で取りかえます。泊まっているホテルにいるときは、次に何をするかなどを考え、少し大人になったと思います。」(4年・山さきくん)

「ぼくは、このスキー教室でスローガンをよく実感することができました。それは、生活の中やスキー実習中、特に最初の1号車が雪にはまってしまっていて、帰ってきたときに2号車の人が荷物をはこんで助けてあげていたところです。ぼくは、スキー教室は、スキーの技術や他学年との仲を深めるだけでなく、日常に必要な自分で行動する力を強くするためにあるのではないかと思いました。」(小5・鈴木くん)

「このスキー教室で学んだことは、なにごとにもチャレンジです。インストラクターさんは英語で話してくれました。昔の自分なら、あまり理解できなくてあきらめていたと思うけど、今はあきらめずに理解しようとしていました。そして、少しでもわかろうと、がんばりました。スキーも最後まであきらめずにチャレンジすることができました。」(小5・近藤さん)

「今年は七人もの人が休んでしまい全員で行くことができませんでした。なので、来年はインフルエンザ対策をもっとしっかりとって、全員で思いっきり楽しみたいです。でも、今年は今までできなかったパラレルができたし、夜みんなで遊んだりできたので、とてもうれしかったです。来年はもっとレベルを上げてがんばりたいです。」(小6・水田くん)

「スキー教室を通して、改めて気づかされたことがある。それは佐々木さんが話していた『当たり前なことで感謝しなければならない。当たり前なことだと思っていることは当たり前じゃない。』ということだ。学習発表会でもあった『当たり前だと思っていた幸せは周りの人たちのぬくもりでできている』ということと類似している。・・・そもそもスキー場を整備したり運営したりしている人がいないとスキーができない。こんなことにならないためには、私たちが感謝の気持ちを伝えてくることが必要だ。佐々木さんの言っていたことそのままだが、先輩たちがこれまで



感謝の気持ちを伝えてきてくれたから、ホテルに泊まること、あの場所でスキーすること、スキー用具をレンタルすることができる。」（小6・凶子田さん）

「今回のスキー教室は部屋が小5との二人部屋で、初めての二人部屋でしかも最高学年だった。少し不安もあったが、小5にもう行ったほうがいいんじゃないかと言ったり、荷物を整理しろと引っ張っていくことができた。スキーではパラレルができるようになったので、もし来年も行くなら上級に行きたい。」（中1・飯塚くん）

「一日目はバスの都合で、スキーをすることが出来ませんでした。全員けがすることなく、無事につくことが出来ました。このことが出来たのは現地の方のおかげだし、ほんとうに感謝です。また、2号車のみんなのおかげで、着いた時、スムーズに行動することが出来ました。はじめにスキー板をはいた時は、全く滑ることが出来ませんでした。二日目が終わる頃には、はじめとは比べものにならないほど、すべれるようになりました。これも、インストラクターのみなさんのおかげです。」（中1・奥田さん）

「ちがう学年の子と話すことによって知らなかったことがわかる時もあったので、今回をきっかけにもっといろいろな子と話すことができるようにがんばりたい。委員会の反省でいろいろなことが出てきて、うまくつながらないこともあるかもしれないけれど、これからつながるものや新しい委員会の人たちについてもらって、次のスキー教室がよくなっていくと思うので、『スキー教室の反省はスキー教室の反省』と別にしないで、頭のかたすみにおきながらこれからの委員会でも学校が良くなっていくようにがんばる。」（中2・佐々木さん）



「今回のスキー教室ではハプニングもあり、変こうになる事が多くあったけど、周りの子と支えあい、臨機応変に対応することができたと思う。他学年の子とたくさん交流して、部屋では家のように落ち着いて過ごすことができた。また、今年はインストラクターさんにお礼をしっかりと言うことができました。去年はすぐにお別れしてしまい、お礼も言えずにさよならしてしまったので、反省を改善できて、とてもスッキリしました！」（中2・村瀬さん）

### スキー教室についてのお知らせ

スキー教室の実施に当たりまして、該当の学年だけでなく、兄弟姉妹のおられる家庭でもインフルエンザの流行防止に向けまして、多くのご配慮を頂きましたことに心から感謝申し上げます。残念ながら参加できなかった児童生徒が7名いましたが、来年もこの時期の実施となりますので、インフルエンザの予防にはご協力をお願い申し上げます。

送迎バスでは大変ご心配をおかけいたしました。まず、2号車の出発が遅れたことにお詫び申し上げます。また、1号車が前日から大雪のために坂道で脱輪し、乗車していた児童生徒はもとより保護者の皆様にもご心配をおかけしましたことにもお詫び申し上げます。バスの到着が遅れたために、1日目のスキー実習が実施できませんでした。実習費の返金等につきましては、現在照会中ですので、今しばらくお待ちください。

来年度のスキー教室をはじめとして、今後の校外学習でバスの選定や運行状況などより精査した上で行ってまいります。今後ともよろしく願いいたします。